

令和5年下妻市消防出初式を開催

令和5年下妻市消防出初式が1月8日、下妻市役所南側駐車場で行われ、下妻消防署員、下妻消防団員など関係者220人が参加しました。この日は、一日点検官に任命された宗道小学校4年生の泉智利世さんと塚田健吾さんが見守る中、服装点検、機械機具点検、車両観閲が行われ、参加者は緊張した面持ちで出初式に臨んでいました。高橋団長は「本年もいつ、どのような火災や災害が発生するかわかりません。引き続き、気を緩めることなく、下妻市民を各種災害から守るための活動に邁進してまいります」と意気込みを語りました。



報告を受ける菊池市長（左）と一日点検官の塚田さん（中央）と泉さん（右）



会場に整列した参加者と車両

新型コロナ



新型コロナウイルスワクチン接種について

新型コロナウイルスは5月8日以降、感染症法上の位置づけを今の「2類相当」から「5類」に移行すると示されましたが、新型コロナワクチン接種については、4月以降の対象者・回数・接種間隔等について厚生科学審議会にて検討されている最中です。（令和5年1月30日現在）引き続き、自己負担なく接種できる体制を検討しているようですが、接種対象であるものの未接種という方は、できるだけ早めの接種をご利用ください。

オミクロン株対応ワクチン未接種者：3回目・4回目・5回目としてまだ受けていない方

国は、オミクロン株対応2価ワクチン接種の効果とし、①発症予防効果②救急外来受診を減らす効果③入院予防効果などの有効性があると発表しています。現在、2月の市内医療機関の枠がありますのでご利用ください。

乳幼児（6か月～4歳）・小児（5～11歳）の接種：1・2・3回目をまだ受けていない方

接種の進捗が遅れていることもあり、国は早急に4月以降の体制を示すとしています。しかし現時点で全ての接種回数を完了できないとしても一定の効果が期待できることから、接種を勧奨しています。市保健センターでの集団接種をご利用ください。



問 市コールセンター ☎050-5445-3743(午前8時～午後6時、平日・土日・祝日)

法務大臣から感謝状

平成25年10月から3期9年3カ月の間、人権擁護委員として地域に貢献された蔵持薫さん(大園木)に、法務大臣から感謝状が贈られ、1月26日に菊池市長から伝達されました。蔵持さんはこの期間、長年の豊かな経験を生かした人権相談や、小学生を対象とした人権教室など人権啓発活動に尽力されました。



感謝状を手にする蔵持さん

人権擁護委員の紹介

人権擁護委員の退任に伴い、後任として折原嘉行さん(田下)が1月1日付で法務大臣から新たに委嘱を受けました。人権擁護委員は、地域の皆さんから人権相談を受け、問題解決の手伝いや被害者救済のための活動、人権尊重の大切さを伝えるための啓発活動を行っています。任期は3年です。



委嘱を受けた折原さん

下妻市総合教育会議を開催

総合教育会議とは、市長と教育委員会が、円滑に意思疎通を図り、本市教育の課題及び目指す姿等を共有しながら、連携して効果的に教育行政を推進していくための会議です。1月26日、市長、教育長、4人の教育委員が市役所本庁舎に集まり、令和4年度下妻市総合教育会議が開催されました。会議の中では、学校の適正規模適正配置や学校給食、休日部活動の地域移行、コミュニティ・スクールの導入、図書館の読書活動とDXについて情報共有と意見交換がなされました。



総合教育会議の様子。教育に関する諸事案について協議がなされました

女性団体連絡会研修会を開催

下妻市女性団体連絡会は「性別にとらわれずやさしさと思いやりの男女共同参画のまちづくり」を推進するため、12月23日、下妻市役所内で、元茨城県教育庁人権教育室社会教育主事として活躍した島田和夫氏を講師に人権研修会を開催し13人が参加しました。参加者からは「様々な人権問題を解決して、暮らしやすいまちになるといい」「何気なく使っている言葉でも差別になることがある」などの感想が寄せられ、普段の言葉遣いや態度を改めて考える機会となりました。



講師の話をお聴きする参加者

男女共同参画推進講演会を開催

市は、大塚製薬株式会社と共催で、女性の健康増進とこれからの男女共同参画社会について考えるための講演会を、1月27日に下妻公民館で開催し、約40人が参加しました。この日は、同社でサプリメントアドバイザーとして活躍している小田内勇氏を講師に招き、女性ホルモンがもたらす女性の心身への影響をテーマに講演が行われました。参加した寺田照子さんは、「1年でも1日でも長く若さを保って行ければと感じました」と話していました。



講師への質問も飛び、健康への関心の高さが窺えました